



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年7月25日

上場会社名 株式会社東京會館
コード番号 9701 URL <https://www.kaikan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 訓章

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛸原 望

TEL 03-3215-2111

四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,405	1.5	527		520		536	
30年3月期第1四半期	1,426	7.6	283		266		282	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	160.51	
30年3月期第1四半期	84.52	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	14,335		6,813		47.5	
30年3月期	13,711		7,375		53.8	

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 6,813百万円 30年3月期 7,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				10.00	10.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,540	2.5	1,370		1,390		3,640		1,089.39
通期	6,280	17.6	4,090		4,180		1,155		345.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	3,463,943 株	30年3月期	3,463,943 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	122,620 株	30年3月期	122,618 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	3,341,325 株	30年3月期1Q	3,341,579 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、底堅い内外需を背景に緩やかな景気回復基調が継続する一方、米国発の通商摩擦が懸念されるなど景況感の改善に歯止めをかける不安材料もあるなかで推移しました。

このような経済環境の中、当社は、本館休館中の収益源となる既存営業所の継続的な収益力強化とともに、平成31年1月の新本館リオープンに向けた準備に全力を傾注しております。

当第1四半期累計期間の売上高は、前事業年度に日比谷営業所を閉店したことなどにより前年同四半期比1.5%減の1,405百万円となりました。経費面では、原価管理の徹底、オペレーションの効率化による人件費のコントロールなど、きめ細かなコスト管理に努める一方、新本館開業に向けた人員の確保や本館婚礼宴会の先行受注のためのウェディングサロン開業など、積極的な開業施策の実行に要する費用を計上いたしました。

その結果、営業損失は、売上高減少に加えて上述の施策実行に要する費用の発生により前年同四半期に比べて243百万円増加し527百万円となりました。経常損失は、本館建替え工事資金の一部を借入金により調達したため金融費用が増加したことなどにより、前年同四半期に比べて254百万円増加し520百万円となりました。四半期純損失は、前年同四半期に比べて253百万円増加し536百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末に比べて623百万円増加し14,335百万円となりました。これは本館建替工事等により有形固定資産が849百万円増加したことが主因であります。

負債は、本館建替工事資金を借入金で調達したことなどにより有利子負債が1,007百万円増加し、前事業年度末比1,185百万円増加の7,522百万円となりました。

純資産は、四半期純損失536百万円および期末配当の実施などにより前事業年度末に比べ561百万円減少し6,813百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績につきましては、平成30年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はございません。今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,701,419	738,960
売掛金	287,113	454,841
商品及び製品	16,667	22,668
仕掛品	7,695	7,592
原材料及び貯蔵品	77,364	79,541
その他	338,986	607,796
貸倒引当金	△77	△1,143
流動資産合計	2,429,169	1,910,256
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	292,987	266,553
機械装置及び運搬具（純額）	67,777	69,944
工具、器具及び備品（純額）	162,295	149,037
土地	2,587,910	2,587,910
リース資産（純額）	5,509	12,788
建設仮勘定	4,974,025	5,854,139
有形固定資産合計	8,090,505	8,940,374
無形固定資産		
リース資産	2,655	2,507
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	5,664	5,517
投資その他の資産		
投資有価証券	1,778,579	1,799,731
繰延税金資産	301,345	275,832
その他	1,106,618	1,404,028
投資その他の資産合計	3,186,542	3,479,592
固定資産合計	11,282,712	12,425,484
資産合計	13,711,882	14,335,740

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,995	153,680
短期借入金	1,700,000	2,140,000
未払金	302,434	523,682
未払法人税等	53,714	13,334
賞与引当金	93,500	58,830
資産除去債務	37,660	22,390
その他	145,927	206,619
流動負債合計	2,456,232	3,118,537
固定負債		
長期借入金	1,680,000	2,240,000
退職給付引当金	1,803,098	1,758,722
資産除去債務	34,240	34,379
その他	363,121	370,432
固定負債合計	3,880,460	4,403,535
負債合計	6,336,693	7,522,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	2,883,140	2,883,140
利益剰余金	547,134	△22,586
自己株式	△439,798	△439,806
株主資本合計	6,690,488	6,120,759
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	684,700	692,908
評価・換算差額等合計	684,700	692,908
純資産合計	7,375,189	6,813,667
負債純資産合計	13,711,882	14,335,740

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,426,110	1,405,075
売上原価	1,286,477	1,283,315
売上総利益	139,632	121,759
販売費及び一般管理費	423,212	649,257
営業損失(△)	△283,579	△527,498
営業外収益		
受取利息	102	16
受取配当金	17,576	19,271
その他	1,830	2,282
営業外収益合計	19,508	21,569
営業外費用		
支払利息	1,316	6,232
コミットメントフィー	693	8,075
その他	-	89
営業外費用合計	2,009	14,397
経常損失(△)	△266,080	△520,326
特別損失		
固定資産売却損	4,795	-
特別損失合計	4,795	-
税引前四半期純損失(△)	△270,876	△520,326
法人税、住民税及び事業税	3,405	3,325
法人税等調整額	8,158	12,657
法人税等合計	11,563	15,982
四半期純損失(△)	△282,439	△536,308

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

該当事項はありません。